



博物館で質問されました。頭の黒いユリカモメは、どこで見られますか？ 近くなら、大和川河口に行けば見られますよ。と答えて、じゃあいつ頃行けばいいかという話になりました。そこで今回は、ユリカモメの夏羽への移行に注目してみます。テーマは、ユリカモメの頭が黒くなるタイミングです。

●夏羽への移行の様子調査の仕方

今から約30年ほど前、京都市賀茂川で、ユリカモメの頭がいつ黒くなるのかを調べたので、それを紹介します(和田1993)。当時、賀茂川の四条大橋から上流には、ピーク時2000羽を超えるユリカモメがいました。

そこで、2月頃からユリカモメの頭の黒くなり具合を記録しました。完全な冬羽をステージ1、少し黒くなったのをステージ2。完全な夏羽をステージ5、頭の大部分は黒いけど嘴の根元に白が残ってるのをステージ4。ステージ2とステージ4の間で、頭が中途半端に黒くなっているのをステージ3としました。成鳥と幼鳥に分けて、各ステージごとの個体数を数えるだけです。

ステージ1とステージ2の境目は微妙で、恣意的な部分を含みます。ステージ2とステージ3の境目も悩ましいのですが、多少ぶれていても黒くなっていく様子を大まかに記録するには問題ありません。

●頭が黒くなるタイミング

1985年から1987年の3年間、ユリカモメの黒くなっていく様子を記録した結果、ユリカモメの頭が急速に黒くなるのは4月に入ってからということが分かりました。半数のユリカモメ成鳥の頭が、ほぼ真っ黒になるのは4月半ば。4月終わりには成鳥の大部分は黒頭になっています。年による差はあまりありません。

一方、幼鳥は、せいぜいステージ3までしか進みません。大部分はステージ2どまりです。しかし、ごくまれに頭が真っ黒の幼鳥も見つかりました。

という訳で、冒頭の質問には、4月の後半に見に行ったら、頭の黒いユリカモメが見られますよ、と答えればいいのかと言えば、ちょっと微妙。4月になるとすでに渡



図1：冬羽のユリカモメ (納家 仁)

りが始まっていて、ユリカモメの個体数はどんどん減少しています。4月の後半に見に行くと、まだユリカモメがいるとは断言できないのです。

●渡りの影響は？

4月、ユリカモメの個体数がどんどん減っていく中で、夏羽への移行も急速に進んでいったこととなります。夏羽への移行と渡りとの間に関係はないのでしょうか？ たとえば、夏羽への移行が完了した個体から渡りを始める可能性はないのでしょうか？

今まで京都市内にいたユリカモメがどんどん北に移動し、同時に西から新たな個体加わる。そうした個体の入れ替わりが起きている中で、夏羽への移行を観察していた可能性が高いでしょう。越冬地域によって夏羽への移行のタイミングが異なれば、渡りの開始のタイミング次第で、観察結果は変わった可能性もあります。

こうした点を明らかにするには、日本各地でユリカモメの頭が黒くなっていく様子を調べるしかありません。だれか調べないかなあ、と思ってから、はや20年以上。まだ誰も調べてくれないようです…。

●野外で実際に観察してみよう

ズグロカモメもまた、その名の通り頭が黒くなります。きちんと調べたわけではありませんが、2014年3月3日に兵庫県の加古川河口で見かけたズグロカモメは、成鳥13羽の内、7羽の頭が真っ黒でした。ユリカモメより1ヶ月ほど早く夏羽になる印象です。

他にも冬羽から夏羽への移行を追跡して記録できそうな鳥としては、ハマシギ、ハクセキレイ、シメなどがあります。ユリカモメと同じようなやり方で、近所でよく観察できる鳥の夏羽への移行を記録すると、面白いことが見えてくるかもしれません。



図2：夏羽のユリカモメ (福田幸充)

●引用文献

和田 岳 (1993) 京都市賀茂川におけるユリカモメの個体数の季節変化と夏羽への移行. *Strix* 12 : 45-53.

和田 岳 (わだ たけし) : 本会幹事、大阪市立自然史博物館学芸員。HP「和田の鳥小屋」
<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/wada/wada-index.html>